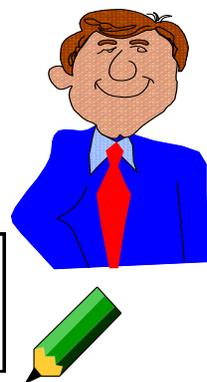




あむーる NO.10



やりとげる！

■現在大学に通っている北高卒業生の2人に、今回は原稿を寄せていただきました。しっかり噛みしめて読むんだヨ。思いが伝わるといいな。

広島文教女子大学初等教育学科児童教育コース2回生

野津 実希

北高生のみなさん、(14Rの皆さん!) こんにちは! 私は、現在広島文教女子大学初等教育学科、児童教育コース、2年生です。私はこの機会に是非ともみなさんに伝えたい言葉があるのです、そ・れ・は、・・・この言葉です! 声に出して読んでみてください、どうぞ!

「やりたいと思うその気持ちも、立派な才能の1つだからね。」

さあ、皆さんは、この言葉をどのように感じましたか? 私はハッと、ときめきました。この言葉は私が大学2年生になったばかりの頃に知り合ってお話をした、プロの演出家(指揮者、舞台監督)の方から言われた言葉です。今から、私がなぜこの言葉を「あむーる」で伝えようと考えたかを、等身大の自分の大学生活を通して皆さんにお話ししたいと思います。皆さんが読みながら、自分の将来の夢や自分の人生の生き方、北高生活をどのように送りたいかなど、自分を見つめることができ、今まで以上に北高生活を一人ひとりが充実感あふれる顔つきで、キラキラと輝きを増しながら過ごしていただければ願っています!!

私は今年の夏休みに大学生活(残り2年間)で柱として取り組みたいことを3つに絞りました。なぜなら、入学してから、やりたいことややらなければならないことに対して、あれもこれもと手を出しすぎ、中途半端になっていると感じたからです。手帳にも余裕がなくなり、周りに迷惑をかけそうだと予測したのも理由です。私は、ダンス部での活動、アルバイト、地域でのボランティア、読書、新聞を読むこと、レポート課題、ミュージカル関係の習い事をやっていきたいと考えていましたが、中途半端になるくらいなら、大学生活で一番に優先すべきことは何かを優先順位を決めて絞り込み、目標を立て、段階を踏んで夢を叶えてやろうと決心しました。今すべきことは何かを見極めて、優先順位をつける。このことは、私が北高生活で失敗し、(もう本当に苦しくて嫌だった——(泣)!!) 実感をもって気づけたことです。私は残りの2年間、以下の3つに絞り込んだ目標を自分の軸にしています。

- ① まずはここ、私の通う大学、初等教育学科で、小学校教員としての総合的な力をつける。大学でのことに積極的に取り組む。平日の22時~23時30分は寮の食堂で友達と学習会を続ける。
- ② 英語の文法をコミュニケーション(スピーキング)に生かすことができるようになるために、空きコマにはSALC(サルク)という日本語禁止の英語学習の施設へ行き、ネイティブの先生と会話を交わすようにする。
- ③ ミュージカル女優、TVで活躍し憧れられる女優になるために、外見、内面、ダンス、歌、演技力、表現力など①とも関連させながら磨き、大学生活とのバランスをとりながら、舞台経験を積むこと。休日は地域の舞台表現クラスに通っています。

私は舞台が大好きみたいです!! たくさんの人から注目されることが好き! 小学校低学年の時に、ディズニーランドのパレードやショーのダンサーやミュージカル俳優に心を奪われました。TVで渾身の演技をし、私の心を震わせる女優さんに憧れ、私もそうなりたいと漠然と思ったのでした。中学生のときには遠い憧れ止まり。高校では、言いたすことも出来ず、そのための努力もしておらず、別の将来像を考えてみたり・・・。大学に来て改めて自分の心の声に耳を澄ますと、やっぱりやりたいことは③のことだと確信したのでした。映画「バーレスク」のようなエキゾチックでエロティックなショーのステージもしてみたいです。さあ、これからどう自分をプロデュースしてゆけばよいだろうか? 今の生活で、アンテナを張り巡らしています。

さてここで皆さんに質問!! (^o^)

「皆さんは、自分に正直に生きていますか? 周囲の人に合わせて、自分をごまかしたり隠してしまったりしていませんか? それで苦しんでいたりはしませんか? また、今苦しんでいる人たちのことを意識していますか? 東北のこと、戦争に苦しむ子どもたちのこと・・・。」



これから進路選択をするとき、迷いや不安、現実において苦しんでいる方も多と思います。もしかしたら今気持ちに余裕がなくなっていて、自分を振り返ったり見つめたりして、将来を考える時間をもていない方もいるのでは? (私がそうだったので。)

私は、2年前を思い出すと、散々だったなと思います。考え方も行動も未熟だったことに原因はあったと反省しています。まるで蟻地獄にはまって、必死に抜け出そうともがくアリでした。勉強についていけず、教室から今にもとびだしてしまいたいと思ったり、授業中、黒板に向かって持っているシャーペン思い切り投げつけたくなったり、廊下の窓から外に向かって「バカヤロー!!!」と叫びたい衝動に駆られ、ぐっと腹に抑え込んだ記憶もあります。それでも不登校にならなかったのは、家族や友達、先生、そして自分のプライドがあったからだと思います。八幡先生には、ほとんど毎朝英単語の再テスト(!)を受けさせていただきました。今、北高生の皆さんを思うと、それぞれが自分なりに頑張っていることだろうと思います。そんな皆さんを私は応援したいです。

皆さんは私のように、失敗してから気付きますか? これだけは聞いてほしいです。正直な自分の心に素直に反応して、素直に表現して。泣きたければ泣いたらいいし、廊下の窓から「バカヤロー!!!」って叫びたい衝動に駆られたら叫べばいい!! (私は、我慢しちゃった) あらゆる不安はたまるだけ。あなたの話せる人に吐き出して。今年の日本有線大賞だった「人間失格」という曲を聞いてみてください。ぐさっとくるものがあると思います。

もうひとつ、「あきらめる」ことについて・・・

これから現実(数字)を突きつけられ、「あきらめる」という挫折を味わうかも知れません。(それまで現実を見ようとしなかった自分が悪いとも言える) 今この北高生活でしかできないことなら、その決断は心の痛みが伴うでしょう。それでももう「あきらめる」決断をしたあなた、もう、前へ進むしかない割り切って!!

もう一度言うね(´v`) 「やりたいと思うその気持ちも、立派な才能の1つだからね。」あきらめることになった原因はつぎの自分に生かすためにハッキリ認識することは大事。そして、「やりたい」と思うことは、心の中にあたたためて、イメージをワクワクしながらふくらませておいていいのだと思います。大学に入ってから、大学を卒業してからもずっと。それはあなたにしかない輝きを放つ大切な大切な才能ですから!! たくさんやりたいことがある人、才能たくさん持っていて素敵ですね! うん!・・・で、今すべきことをしっかりと、足元を固めながら、やりたいことへの努力も惜しまずに行きましょう! そうすれば何らかのかたちとなって小さな夢も1つずつ叶うということに気づけた今日この頃。「自分をどこまでプロデュース出来るかは自分次第」と焦り、危機感も感じる今日この頃。そして、やりたいことに向かってゆけて幸せだなと感じる今。そういう自分でいれるのは、何より、自分を支えてくれる家族、恩師、親友、恋人の存在があってこそ。だから生きてこれていると、感謝したい今。生きているうちでしか、お互いの呼吸や体温、言葉や視線も感じれないし、感動や苦しさを共有できないし・・・。そう思うと、身近な人は意識して大切にしないと、と感じています。皆さん、高校生活において、最後まで自分を強気でプロデュースして行って下さいね。以前「あむーる」を読ませていただきましたが、その内容には八幡先生が皆さんのことを考えて、心のバネになること、心の根っこになることをたくさん書かれています。生かさないともったいないですよ!

それでは、お元気で。読んで下さって本当にありがとうございました(*。*)。



大学生生活紹介



鳥取大学農学部獣医学科 1 回生 別所麻由子

私は鳥取大学農学部獣医学科に在籍しています。ここでは、私の学生生活について紹介します。

まず、授業についてです。1年生の間は専門科目が少なく、ほとんどが一般教養です。前期の専門科目は畜産学実習と獣医生化学Iでした。畜産学実習では直腸検査(牛の肛門から手を入れて妊娠診断などを行う)をしたり、畜産試験場や放牧場に行ったりと主に産業動物について学びました。一般教養は最大6科目まで取ることができ、さらに、情報リテラシ、大学入門ゼミ、健康スポーツ実技(私の場合はジャズダンス)、コミュニケーション英語A,Bと第二外国語がありました。授業の開始は8:45でいたい16:15に4コマ目が終了します。大学の授業は高校とは異なり、様々なことが学べます。一般教養は自分が興味を持った授業を取ることができるので、専門に特化せず、知識を広げ、幅広い見方をするのに役立つと思います。また、専門科目や実験の授業などではレポートの提出があるので空いた授業の間などに友達と意見交換をしながらやっています。図書館に夜遅くまでいることもあります。大学の授業は考えるきっかけを与えてくれる形なので自分で勉強しないと理解できないことが多いです。その他に、私は火曜日と木曜日の自分の授業が終わった後に18:00まで「留学生のための日本語パートナー」をしていました。これは鳥取大学に留学している学生が日本語を学ぶのを手伝うものです。単位にはなりません、英語の勉強にもなり、色々な国の人の考え方に触れることができたのでとても良い経験になりました。また週に1回授業の空き時間を使って、生理学の英語の教科書を読むという内容の授業を学科長に言っていたいました。

次にサークル活動についてです。私は「ギターアンサンブル部」と「Bird Getters☆」に入っています。ギターアンサンブル部では月・水・金の週3回、17:00~20:00までクラシックギターを練習しています。初心者で練習は大変ですが、初めての経験でとても楽しいです。他学部の学生との交流にもなり、友達が増えます。Bird Getters☆は獣医のサークルで野生動物について自分たちで勉強します。自分が学んだことを発表し、理解を深めます。私はリスの生態調査に参加したり、博物館のバックヤードを見たりしました。獣医についての知識が少なくても積極的に参加して、知識を広めたいと思っています。今年の夏休みは牧場に実習に行く計画を立てています。

最後にバイトについてです。私は月に数回、週末に「こどもの国」という所で短期のバイトをしています。(すいているときはレポートしたりしています)

私の大学生生活はこのような感じです。毎日とても充実した生活を送っています。少しでも参考にさせていただければ幸いです。

●「農場の法則」

中学・高校と、定期試験に一夜漬けで臨んだことのある人は多いことでしょう。それで試験の結果はどうでしたか？必ずしも悪いというわけではなく、時には良い点がとれたのではないのでしょうか。会社や学校のようなシステムの中では、ゲームのルールを学べば、短期間にごまかすことはできるのです。これを「学校の法則」と言います。

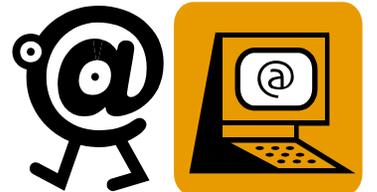
ではそれが農場であつたらどうなるでしょう。収穫直前に種を蒔き、急いで水をあげ、世話をし、それで実がなることはあるのでしょうか？答えはNo！農場では、春に種を蒔き、夏に手入れをし、毎日毎日水をあげて初めて秋に収穫を得る。自然のシステムの中では、必要な務めを果たさなければ収穫はないのです。これを「農場の法則」と呼びます。

人間の成長はどちらの法則に支配されていると思いますか？当然後者ですね。八幡は、勉強も、「狩り」ではなく、「農耕」だといつも言っています。◎◎◎◎◎



●ガチョウと黄金の卵

イソップ童話の中にある寓話です。ある日、貧しい農夫が自分のガチョウの巣に行ってみると、そこにはキラキラと輝く黄金の卵があつた。いたずらかと思つたが、市場に持っていくと純金だということが判明した。農夫は大喜びだつた。その後もガチョウは毎日1個ずつの金の卵を産んだ。農夫は大金持ちになつた。しかし、欲が出てきて、毎日1個しか産んでくれないガチョウにいらだちを感じ始めた。そこで、ガチョウの中の金の卵を一気に手に入れようとしてガチョウを殺すことにした。いざガチョウをあけてみると、そこには何も入っていません。この寓話には大切な教訓が入っていることはお分かりですね。すなわち、成果(金の卵)を手中にするには、その成果を出す能力(ガチョウ)の維持、増強が必要だということです。毎日の努力こそがそれを可能にしてくれます。◎◎◎◎◎



八幡先生のホームページができました！



<http://teamhacchan.wordpress.com>

12月上旬に八幡先生のホームページ「チーム八ちゃん」が開設されました。忙しい身体なのに…自分で自分の首を絞めるような活動ですが、毎日空き時間を見つけてはブログを更新しています。日々の感じたことや出来事を綴っていますので、機会があればのぞいてみてください。結構ためになることが出ていますよ。

実は、全国220人の会員の先生方で始めた「英語指導資料共有サイト」でもあります。会員の先生方は自由に閲覧、ダウンロードできるようになっています。励まし・応援のメールを沢山頂きましたから、皆さんには喜んでもらっているようです。本当に苦勞して作った甲斐がありました。

このホームページをデザインしてくださったのは、北高のホームページも作ってくださっている、ティーエム21の吉岡隆行さん(取締役)です。いい感じに仕上がっていて大満足です。感謝、感謝！ tttt

本 本
気 気
本 本
気 気
な な
仕 仕
事 事
あ あ
あ あ
人 人
間 間
一 一
度 度
こ こ
い い
つ つ
を を
つ つ
か か
ま ま
え え
ん ん
こ こ
と と
は は

その昔、山口県立大学の入試で「この詩を読んであなたが感じた事柄を、自分の体験に即して400字以内で論述してください」という問題が出たことがある。これは仏教詩人の坂村真民さんの詩で、いい問題だなと思つてファイナル、以来ずっと紹介することにしていた。みなさんは何かに本気になっていきますか？全力を傾けて打ち込んでいますか？SSSS

